

全世界に天然の高品質 健康から始まる注文住宅

伝統の漆喰技術で 変化に耐える企業づくり

神奈川にある自然注文住宅企業「サンキホーム」。木本社長は、危機に瀕していた家を県内有数の企業に成長させ、立て直した3代目。先代は左官として黄綬褒章・旭日双光章も受賞し、国宝級の寺社仏閣を手掛ける名チームを率いた傑物だったが、時代の変化を受け、継承時には、経営破綻を覚悟するまでに陥っていたという。

「私は人員整理後、利益の薄い下請業務から撤退しました。当時、最も技術力を誇って

いた漆喰に力を入れ、どんな左官職人でも均一な塗装品質を実現できるようマニュアルを斬新な商材を考えました」。

そのアイデアの多くはSDGsに関するもの―自社の廃棄天然素材を混ぜて壁面塗装する、化学素材の影響を減らすため家具の上から天然素材を薄く塗る、ウイルス吸着率の良い素材の提案。大手企業や海外メーカーに対し、企画を持ち込み評価された。

「今、当社は良質な『食事・睡眠・身体』を提供する企業として成長しています。今後は、ルール整備も含め、未来につなぐことを目指します」。



代表取締役

木本 己樹彦

取材:大河内志保

私も食事のスペシャリストとして学び、睡眠環境や住宅立地には配慮してきました。しかし、そのほとんどを賃貸住宅で過ごしてきたこともあり、壁を塗り変えて健康になるという発想はありませんでしたので、今日は大変勉強になりました。健康やSDGsはまさに時代のキーワード。それを先駆けて取り入れ、経営再建の柱にしたところがスゴイです。